

【2022年版】 デジタルコンテンツ購入時の 決済手段に関する調査

P4 調査概要

P5 回答者 性別と年代

P6 よく利用する決済手段

P7 よく利用する決済手段 TOP5 過去比較

P8 最も利用する決済手段

P11 最も利用する決済手段の理由

P13 最も利用する決済手段 過去比較

P14 決済手段不足によるサイト離脱率

P15 購入頻度の変化

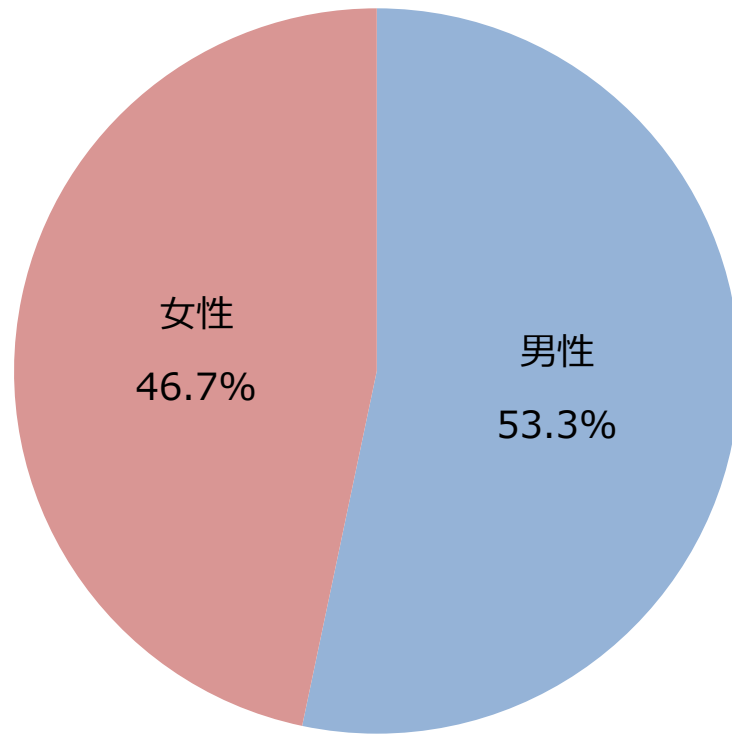
調査概要

調査概要

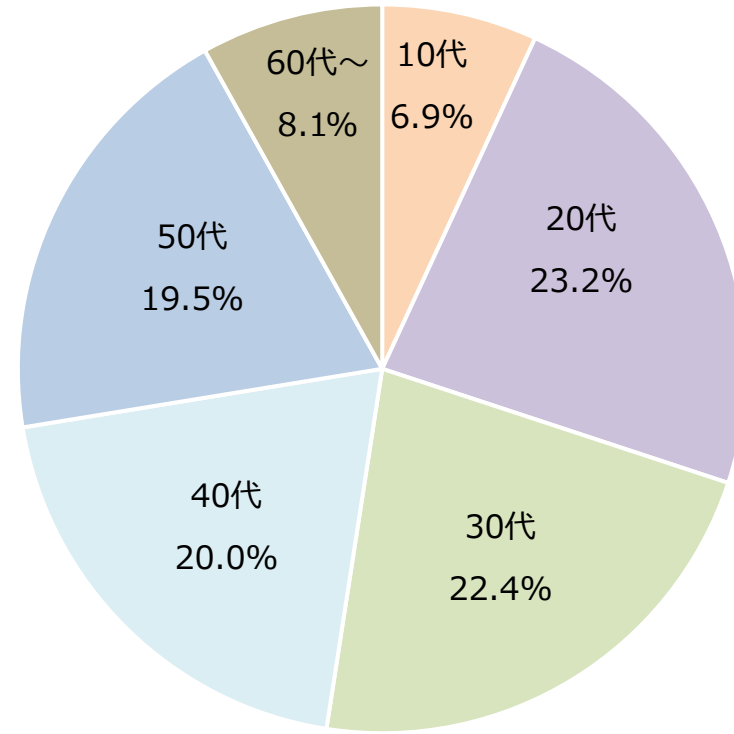
調査内容	デジタルコンテンツ購入時の決済手段に関する調査
調査対象者	1年以内にデジタルコンテンツの代金を支払ったことのある男女
回答者数	2,253人（男性：1,200人,女性1,053人）
調査方法	インターネットリサーチ
調査期間	2022年2月14日～2022年2月21日
調査元	SBペイメントサービス株式会社

回答者 性別と年代

性別

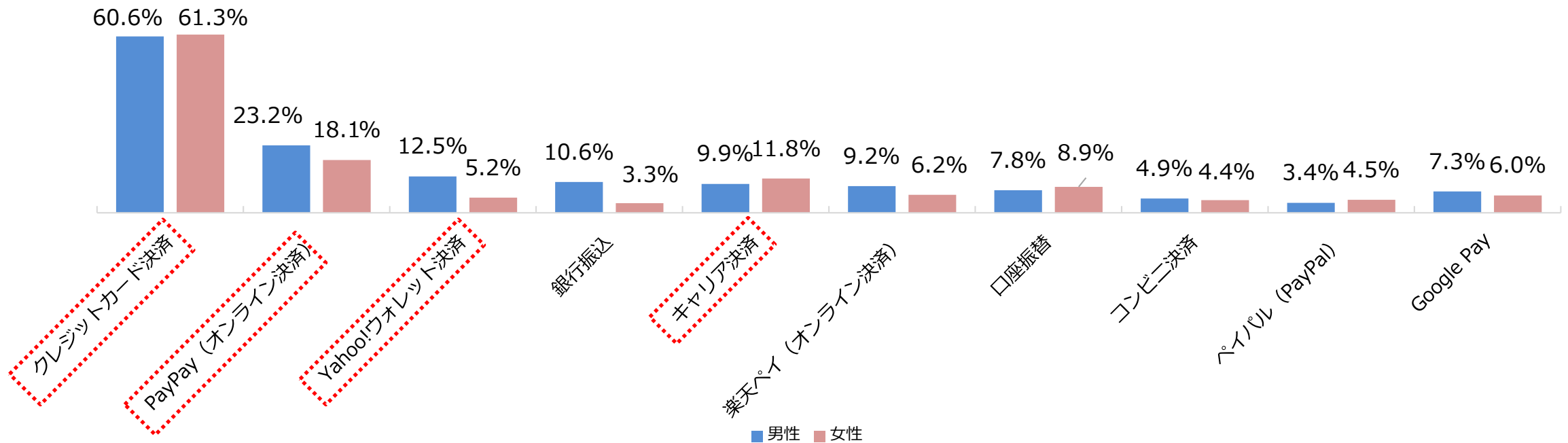


年齢



よく利用する決済手段

デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段としては**クレジットカード決済**が最も多く選ばれ、次に**PayPay（オンライン決済）**となった。3位以降は男性が**Yahoo!ウォレット決済**で、女性が**キャリア決済**となり男女で差があった。



※10位までの決済手段を表示

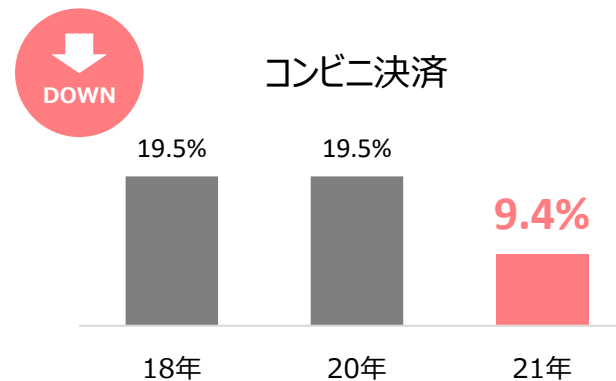
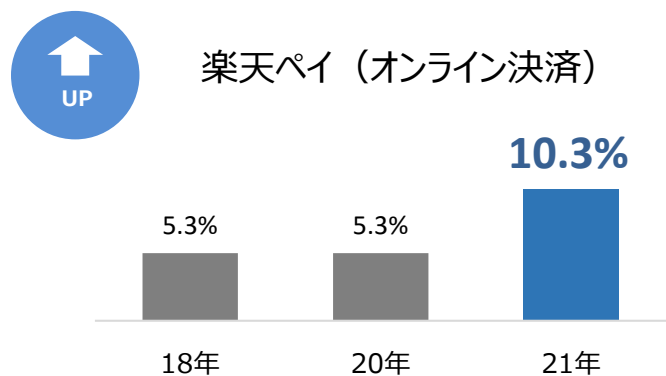
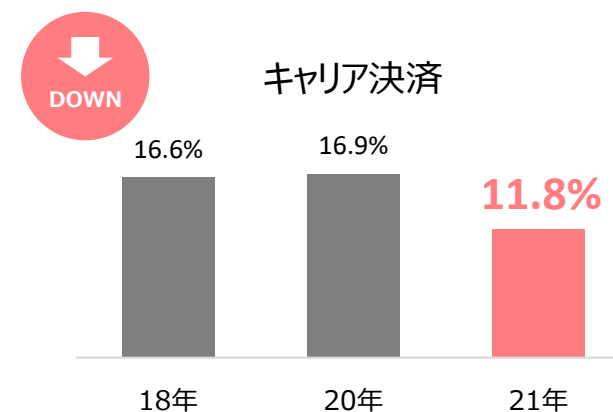
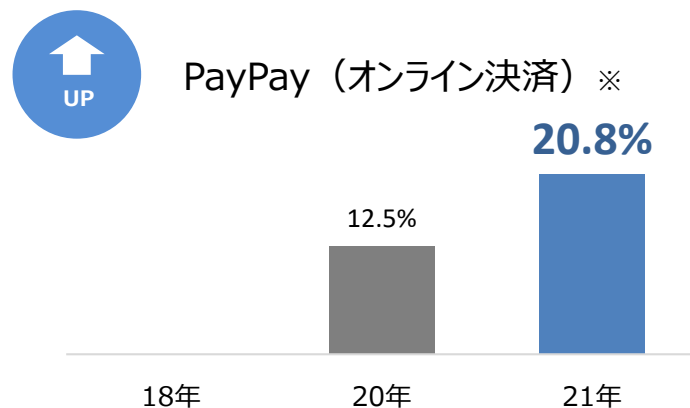
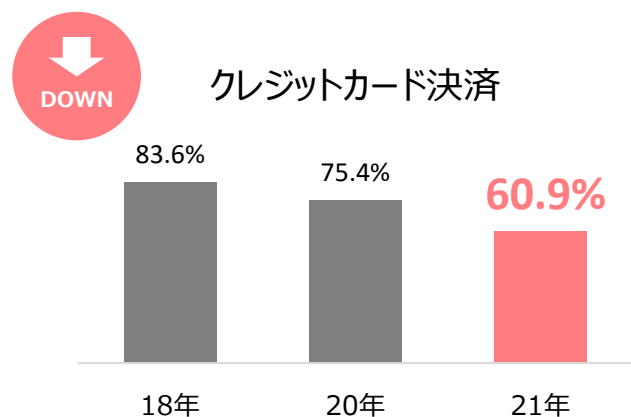
※11位以降の選択肢：Google Pay/Amazon Pay/プリペイドカード決済/Apple Pay/LINE Pay/au PAY（ネット支払い）/Tポイントプログラム（オンライン決済）/ Pay-easy（ペイジー）決済/メルペイネット決済/WeChat Pay（オンライン）/エポスかんたん決済/リクルートかんたん支払い/ネットマイル決済/Alipay国際決済/ 永久不滅ポイント決済/銀聯網決済/その他(自由回答)

（複数選択 n=2,253）

よく利用する決済手段 TOP5 過去比較

2018年では80%以上の方がクレジットカードを選んでいましたが年々低下傾向にある。

一方で実店舗でも拡大しているPayPay（オンライン決済）や楽天ペイ（オンライン決済）の利用者が大きく増加している。

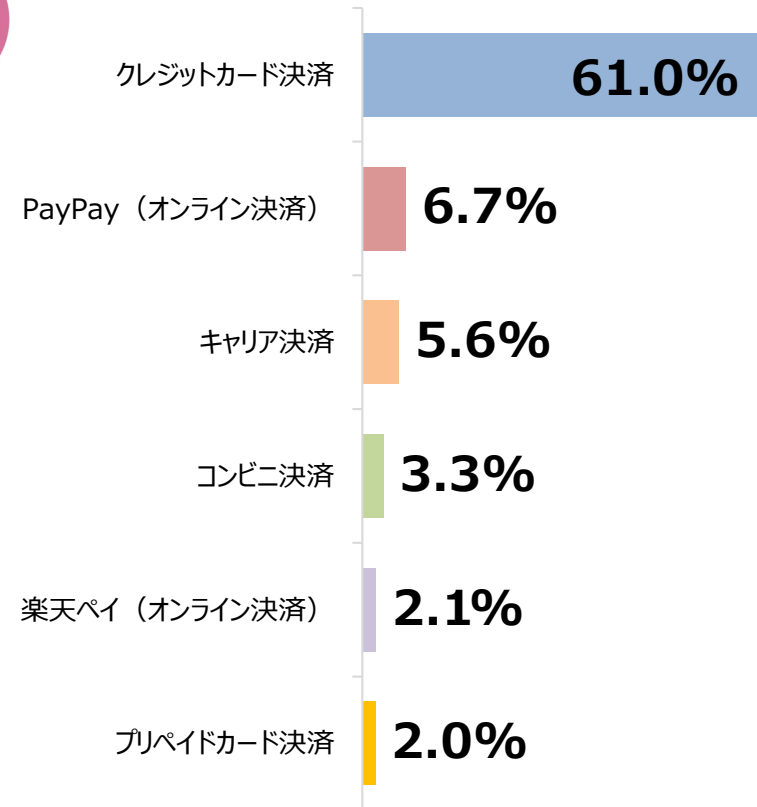
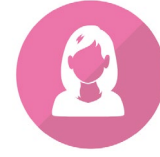
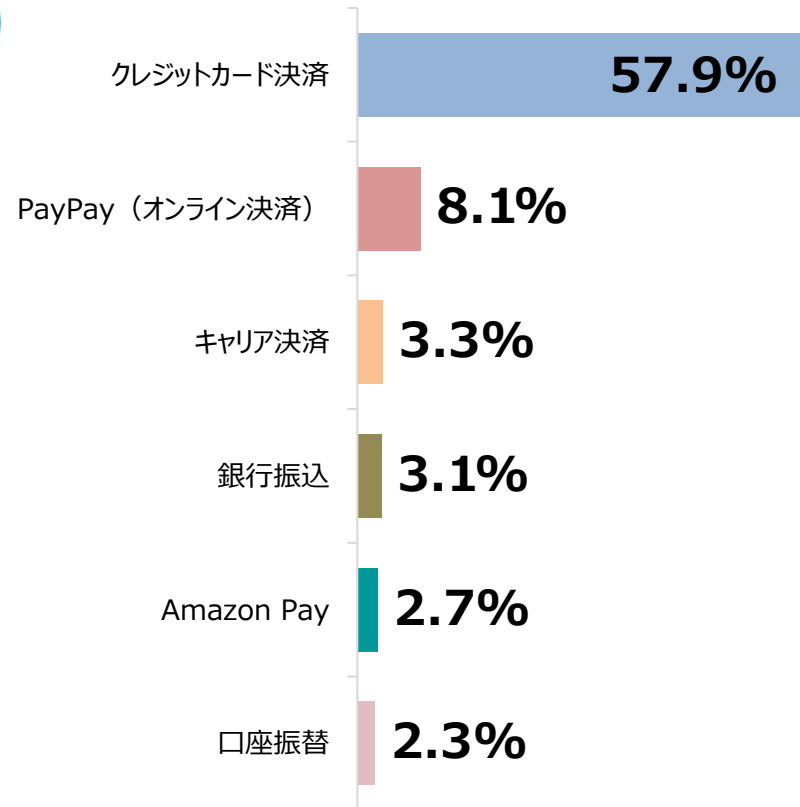


※2018年調査時は選択肢としてなし

（複数選択 2018年:n=1,173 / 2020年:n=2,335 / 2021年:n=2,253）

最も利用する決済手段（性別）

男女共に**クレジットカード決済**が最も利用すると回答し、次いで**PayPay（オンライン決済）**、**キャリア決済**となった。



※上位6個までの決済手段を表示

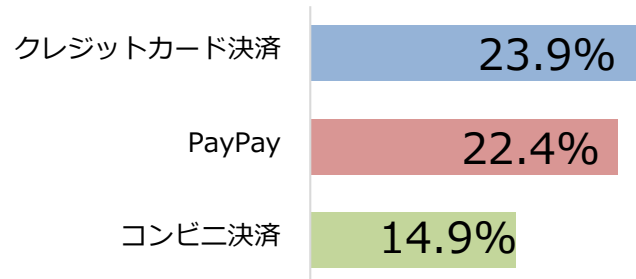
（単一選択 男性:n=1,093 女性:n=939）

最も利用する決済手段（男性×年代別）

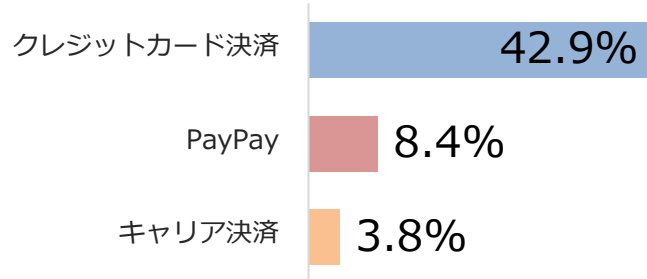


男性10代ではクレジットカード決済の利用割合がPayPay（オンライン決済）・コンビニ決済と大差なく、クレジットカード決済以外の決済手段が浸透していることが分かる。また携帯代金とまとめて支払いができるキャリア決済を選んでいる方も多かった。

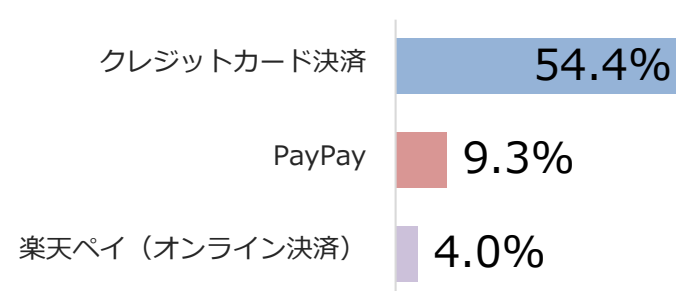
10代



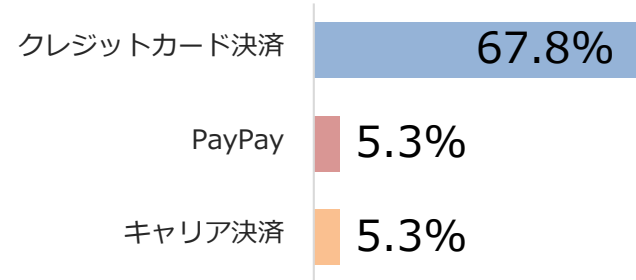
20代



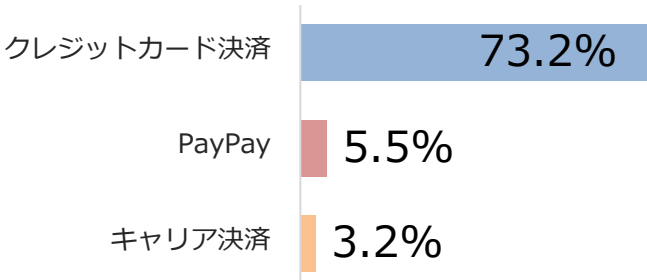
30代



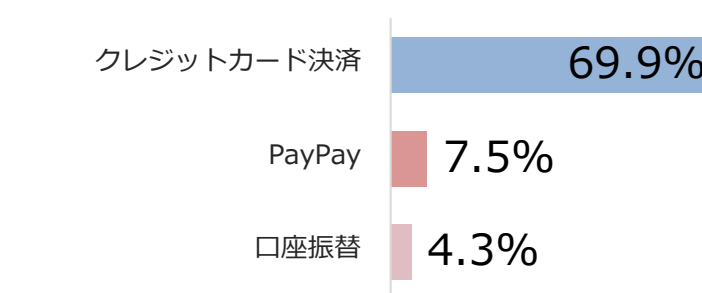
40代



50代



60代～



※上位3個までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

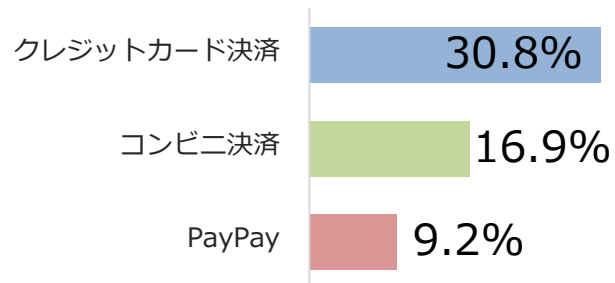
（単一選択 n=1,093）

最も利用する決済手段（女性×年代別）

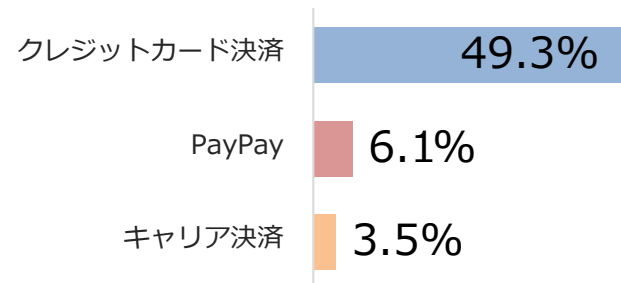


女性も男性同様10代はクレジットカード決済以外の決済手段割合が高く、年代が上がるごとにクレジットカード決済割合が上がっている。クレジットカード決済以外ではPayPay（オンライン決済）とキャリア決済が上位で選ばれている。

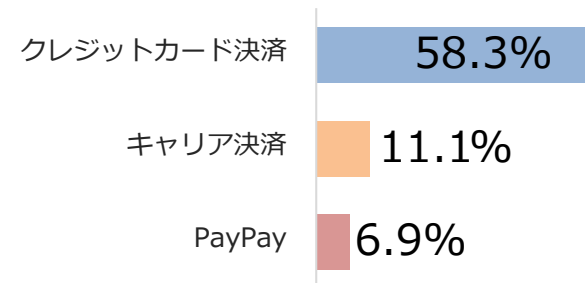
10代



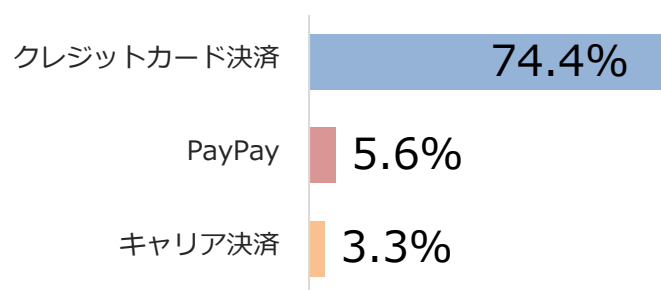
20代



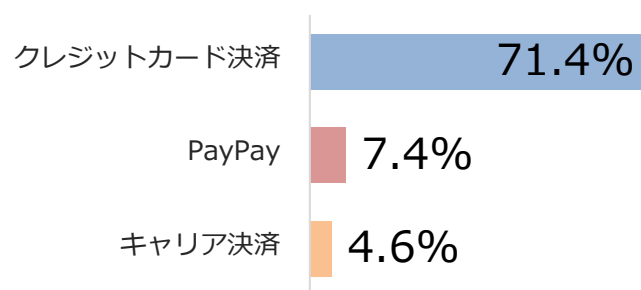
30代



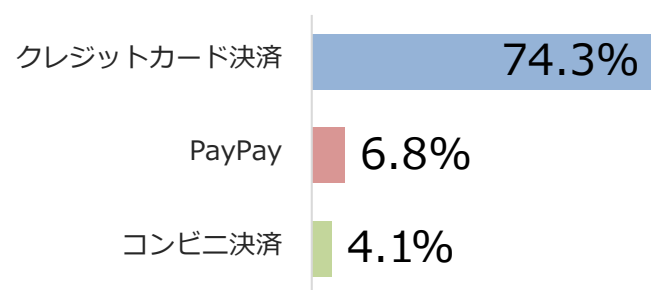
40代



50代



60代～



※上位3個までの決済手段を表示（同率の場合はすべて表示）

（単一選択 n=939）

最も利用する決済手段の理由

	クレジットカード決済	PayPay（オンライン決済）	キャリア決済	コンビニ決済	銀行振込
男性 	チャージをすることもないため（10代）	普段の買い物でも利用しているため手軽だから（10代）	直ぐに支払いが出来るから（20代）	クレジットカードを持ってないから。比較的楽だから（10代）	新しいものに抵抗がある。（30代）
	安全だし、ポイントの還元率が高いから（20代）	ポイント還元や、ポイント投資など損が感じられないから（30代）	手数料もかからず楽だから（30代）	昔から使っていてなれてるから（30代）	簡単に利用できるから（40代）
	マイルを貯めるから（40代）	普段の生活で一番使っている（60代）	使い勝手が良くて、ポイントがたまるから。（60代）	現金決済に近い感覚だから（40代）	月々の支払いを把握することが出来るから（60代）
女性 	手数料がかからず、ポイントもたまるから（10代）	自分がよく使ってるので使い慣れていて安心（20代）	携帯料金とまとめて支払えるから（10代）	クレジットカードの情報を入力するのが少し面倒だし、怖いから（10代）	カードを持ってないから（10代）
	色々なところで利用できて便利だから（30代）	残高が分かりやすい（30代）	カード番号等を入力するクレジットカードよりは簡単で安心感があるから（30代）	カードは極力使いたくないから（50代）	使い慣れているから（50代）
	カードを事前に登録しているので、手間がかからない（40代）	その支払い方法が一番得になるサービスを利用しているので（50代）	支払いが合算されてスムーズなので（50代）	その都度払った方が安心する（60代）	銀行との取引のある業者であるという証拠、安心して取引ができる（50代）

最も利用する決済手段の理由（その他の決済手段）

Amazon Pay	メルペイネット決済	楽天ペイ（オンライン決済）	au PAY（ネット支払い）	LINE Pay
簡単で、使いやすいから。便利です（50代・男性）	支払いがしやすいから（10代・男性）	ポイント還元率が高いから（20代・男性）	スマホと連携しているから（30代・男性）	使い慣れている（20代・男性）
ギフト券がたまっているから（20代・女性）	不用品を売ったお金が使えるから（40代・女性）	ポイント支払いができるので、元手が掛からず支払えるから（30代・女性）	自分が契約しているスマホメーカーがauだから（20代・女性）	ポイントが貯まるから（30代・女性）
口座振替	Yahooウォレット決済	Google Pay	Apple Pay	Pay-easy（ペイジー）決済
簡単で便利だから（30代・男性）	カード番号の入力必要ないから（40代・男性）	androidのスマートフォンで電子書籍を読むので自然と使っている（40代・男性）	安全で番号などの入力も必要ないから（20代・男性）	支出がわかりやすい（40代・男性）
口座登録してあるから（60代・女性）	銀行口座から翌月引き落とされて楽だからです（30代・女性）	Androidのスマートフォンを使用していて、この支払い方法に馴染みがあるから（10代・女性）	入力が不要で楽だから（20代・女性）	やり方が分かり易い（10代・女性）

最も利用する決済手段 過去比較

年々男女共にクレジットカード決済の割合が減少している分、他決済手段を利用する人が増加している。2021年ではキャリア決済に代わり、**PayPay（オンライン決済）**が最も利用する決済手段第2位となった。

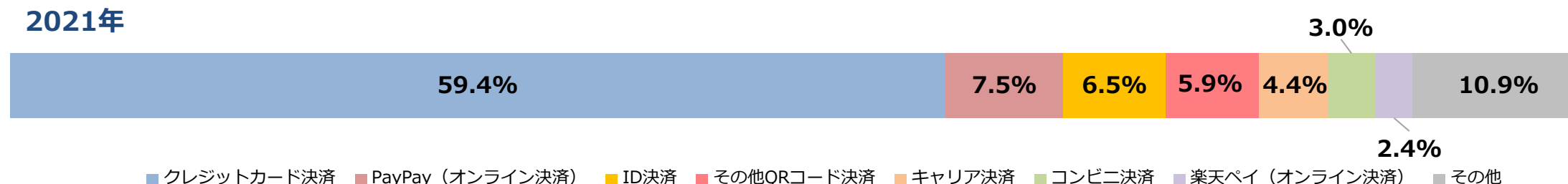
2018年



2020年



2021年

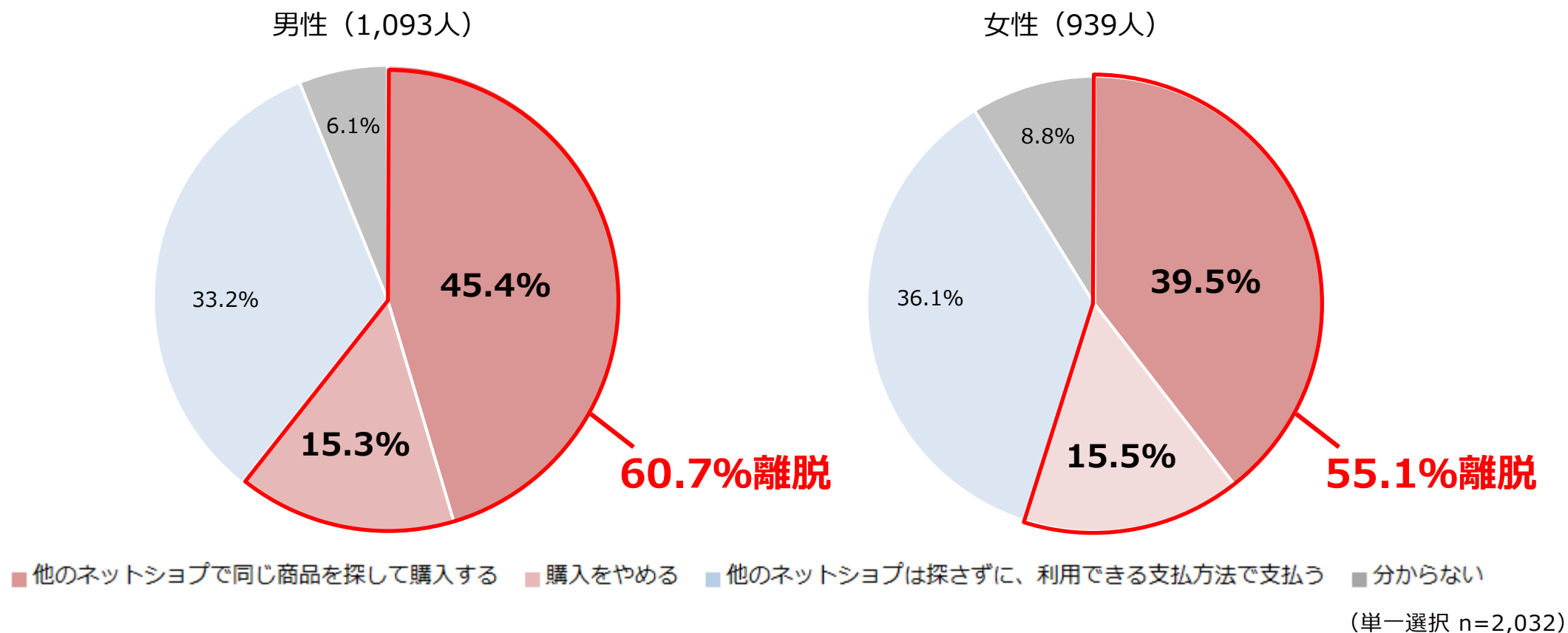


※2021年各内訳 ■ ID決済：Yahoo!ウォレット決済 / Amazon Pay / Apple Pay / Google Pay / エポスカんたん決済 / リクルートかんたん支払い ■ その他QRコード決済：au PAY（ネット支払い） / LINE Pay / メルペイネット決済
 ■ その他：プリペイドカード決済 / 口座振替 / 銀行振込 / ペイパル（PayPal） / Tポイントプログラム（オンライン決済） / Pay-easy（ペイジー）決済 / WeChat Pay（オンライン） / ネットマイル決済 / 永久不滅ポイント決済 / 銀聯ネット決済 / Alipay国際決済 / その他決済手段（自由回答）

（単一選択 2018年:n=1,173 / 2020年:n=2,145 / 2021年:n=2,032）

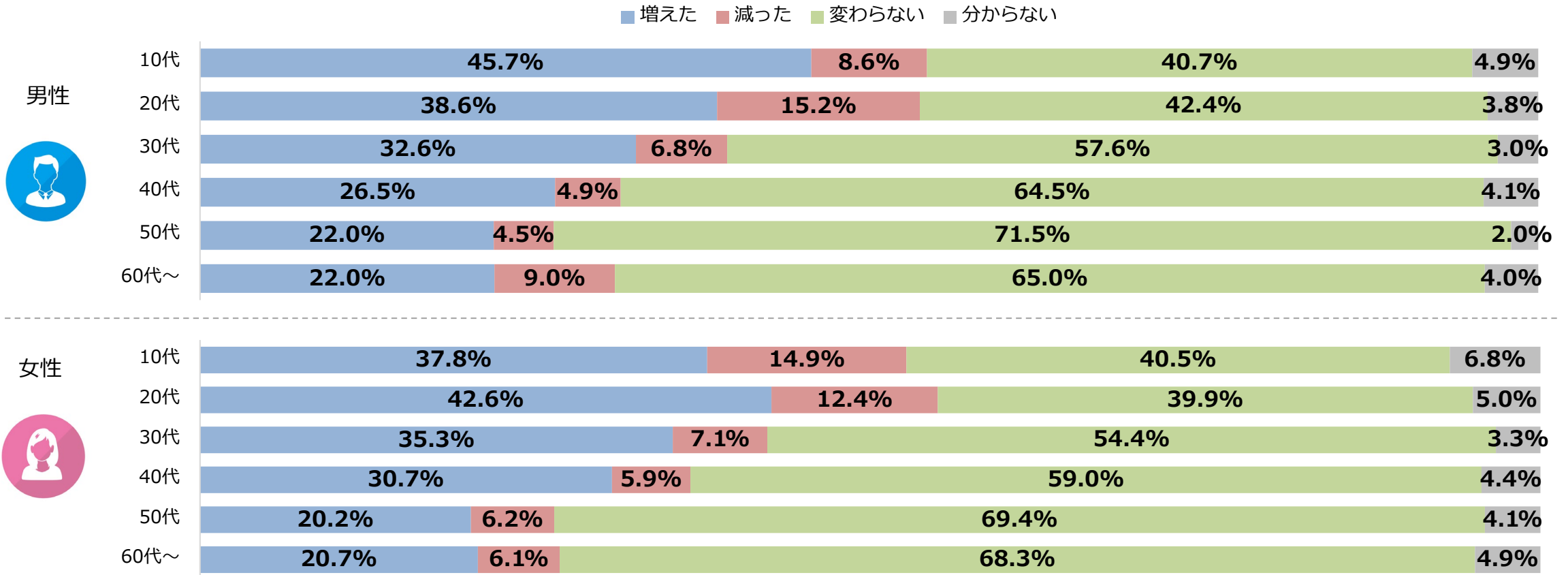
決済手段不足によるサイト離脱率

デジタルコンテンツ購入時によく利用する決済手段がない場合どうするか、質問したところ男性では60%以上、女性では55%以上がそのネットショップでは購入せず離脱することが分かった。この結果からネットショップにおける決済手段の重要性が分かる。



購入頻度の変化

2020年と比較しデジタルコンテンツの購入頻度に変化はありましたか、と質問したところ**増えた**と回答した人が減ったと回答した人より全年代通して多かった。2021年はまだコロナの影響もあり、**ネットショッピングを利用する人が増えた**ことが想定される。



(単一選択 n=2,253)

会社概要

会社概要

役員一覧

社名	SBペイメントサービス株式会社
設立年月日	2004年10月1日
資本金	60億7,500万円
株主	ソフトバンク株式会社 100%出資
事業内容	決済サービス、プリペイドカード発行サービス ポイントサービス、集金代行サービス 送金サービス 上記に付随するコンサルティングサービス
従業員数	518人（委託社員含む）
拠点	本社：東京都港区海岸1丁目7番1号 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 大阪：大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー7階 福岡：福岡市博多区中洲3-7-24 Gates11F WeWork
関連会社	SBギフト株式会社
各種免許 許認可一覧	前払式支払手段（第三者型）発行者 関東財務局長 第00625号 資金移動業者 関東財務局長 第00017号 電気通信事業者 関東総合通信局長 A-29-16195 クレジットカード番号等取扱契約締結事業者 関東（ク）第7号 電子決済等代行業者 関東財務局長（電代）第15号

代表取締役社長 兼 CEO	榛葉 淳 （ソフトバンク株式会社 代表取締役 副社長執行役員 兼 COO）
代表取締役副社長 兼 COO 兼 CISO	堀田 智宣
常務取締役 兼 CSO	平田 敏昭
取締役 兼 CFO 兼 CCO	沖本 泰朋
取締役	佐々木 一浩 （ソフトバンク株式会社 執行役員）
取締役	藤原 和彦 （ソフトバンク株式会社 取締役 専務執行役員 兼 CFO）
取締役	谷田 智昭 （ヤフー株式会社 執行役員）
常勤監査役	村田 大介
監査役	桃崎 有治
監査役	秋山 修

事業概要

オンライン向けから店舗向けまで幅広いサービスを展開

オンライン決済サービス



事業者さま向けにオンライン決済事業を運営。30ブランド以上の豊富な決済手段をまとめてご提供。ソフトバンクグループの決済処理を行う安定した決済システムをご提供します。

店舗向け決済サービス



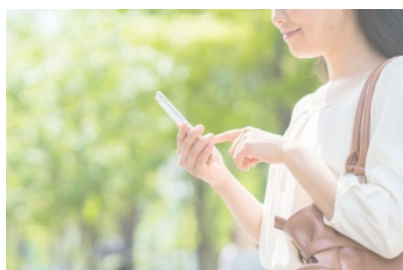
クレジットカード決済専用端末をはじめ電子マネー、コード決済にも対応したマルチ決済端末までニーズに合わせたサービスを提供。

カード加盟店業務



Visa、Mastercard、UnionPay（銀聯）のライセンスを保有しており、各ブランドのアクワイアラーとしての加盟店審査や管理事業、端末決済サービスを提供。

キャリア決済



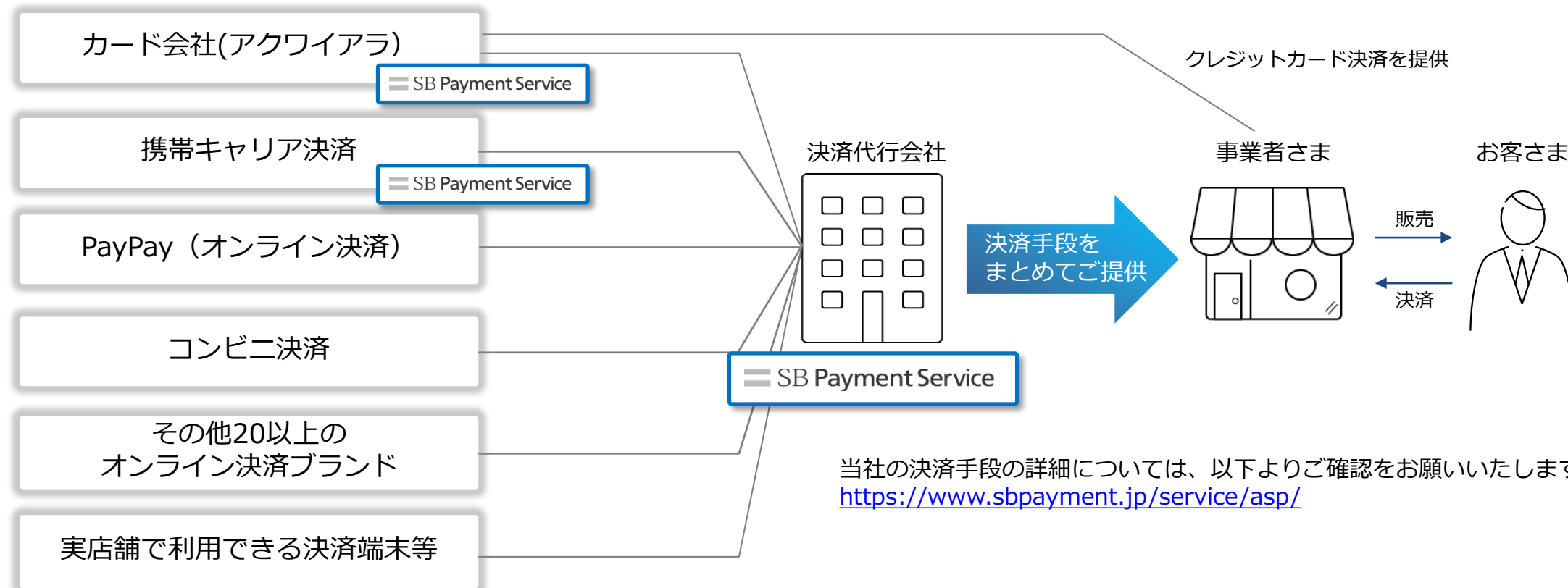
ソフトバンクと共同で、ソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」の開発・運営。決済機関として他決済代行会社へキャリア決済を提供。

決済業界と当社SBペイメントサービスの役割について

当社SBペイメントサービスは決済代行会社として、クレジットカード決済に始まり多種多様な決済手段を事業者さまへご提供しております。

また、当社はVisa・Mastercard・UnionPay（銀聯）の国際ブランドライセンスを取得しております。そのため、「アクワイアラ」というカード会社の立場として、事業者さまや、当社以外の決済代行会社さまに対してクレジットカード加盟店審査も行っております。

そして、ソフトバンクと共同でソフトバンク携帯ユーザー向けの通話料合算請求「ソフトバンクまとめて支払い」の開発・運営をしており、他の決済代行会社へ携帯キャリア決済も提供しております。



 SB Payment Service

情報革命で人々を幸せに ～ すべての人と価値をつなぐ ～

Webサイト からのご相談

<https://www.sbpayment.jp/contact/>

お電話 でのご相談（平日10：00—16：00）

03-5776-7008

Thank you